

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） ～ 棧橋部ジャケット第50基目の据え付け完了（25%進捗）～

記者発表資料

24時間365日の昼夜連続施工で進められている東京国際空港（羽田空港）の4本目の滑走路（D滑走路）建設工事においては、埋立構造、棧橋構造（ジャケット）を組み合わせたハイブリッド構造になっており、連絡誘導路橋により現空港に接続される。

そのうち棧橋部においては、平成20年1月9日にジャケット第1基目を据え付けて以来、順次据え付けを行ってきましたが、平成20年7月24日に第50基目（総数198基）のジャケットを据え付け、進捗率25%を達成しました。今後も徹底した工程管理の中で週2基程度のペースを保ち、平成21年度末までに据え付けを終了させる予定です。

また、連絡誘導路橋においても、平成20年3月25日よりジャケットの据え付け作業を行ってきましたが、平成20年7月18日（金）に10基目（総数40基）の据え付けにより、同じく進捗率25%を達成しました。

なお、今後の据え付け予定日をHPで公開しておりますので、ジャケット据え付け状況の見学をご希望される方はD滑走路展望台までお越しください。（据え付け予定日は、気象条件により変更することがあります）

D滑走路展望台は、日曜日から金曜日の午前10時から午後5時まで一般開放しております（土曜日のみ休館）。

平成20年7月25日

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

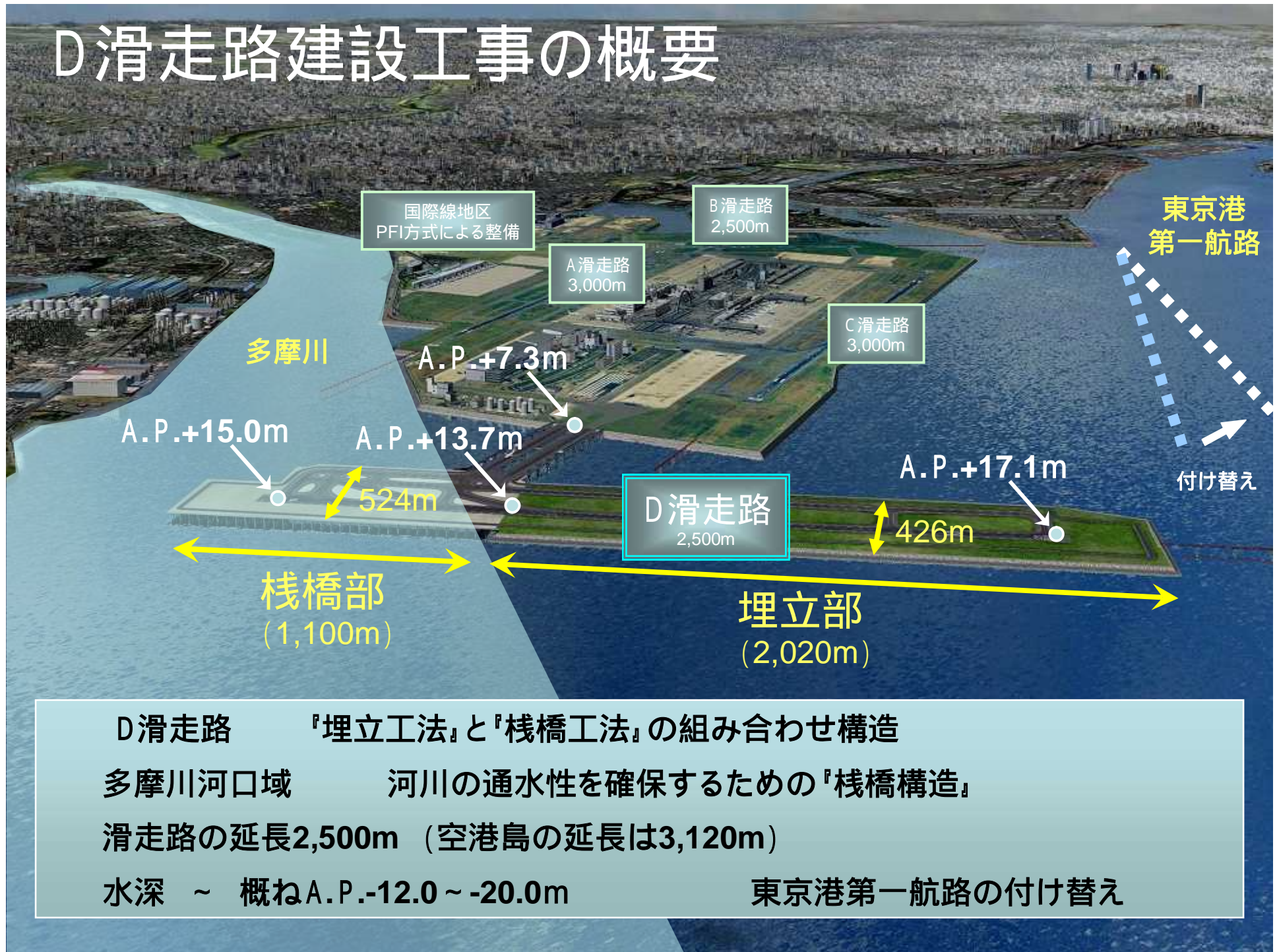
同時発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会
都庁記者クラブ 千葉県政記者クラブ 東京航空記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室 こんどう さとう 近藤、佐藤
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7 5F
電話 03-5756-6573
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

D滑走路建設工事の概要



D滑走路 『埋立工法』と『栈橋工法』の組み合わせ構造

多摩川河口域 河川の通水性を確保するための『栈橋構造』

滑走路の延長2,500m (空港島の延長は3,120m)

水深 ~ 概ねA.P.-12.0 ~ -20.0m

東京港第一航路の付け替え

ジャケット据付工

